

創業120周年企業紹介



代表取締役 荒川 博氏

アスカフ 荒川制服株式会社

創業 ● 明治34年 4月 1日

代表者 ● 代表取締役 荒川 博

所在地 ● 【本店】津市万町津174番地

電話番号 ● 059-228-3059

営業品目 ● 各官公庁制服・各学校制服・
体育衣料・カバン・白衣・
給食衣・雨衣・靴類・作業服・
事務服・介護服・紳士服・
スポーツユニフォーム・
イベントユニフォーム

● 貴社の事業内容について

今年で創業120年を迎えた『荒川制服株式会社』。曾祖父の時代から、私で4代目！注文紳士服の荒川商店から始まり、その後荒川洋品店。作業服、学生服を取扱う様になり、経営規模の拡大に伴い昭和40年頃に『荒川制服株式会社』と移り変わり今日に至ります。



本店社屋

今では学校制服はもちろんの事、三重県警を始めとする県内各官庁の制服、学校体育衣料、作業服、事務服、紳士服、白衣、スポーツユニフォーム、イベントユニフォーム等々多種にわたり取扱っております。

● 事業を営んでいる中で御苦労された点について

約10年前に、父である先代の社長が病気をし、会社経営や銀行との取引などの業務を全てバトンタッチされました。営業や、販売促進、店舗運営といった仕事は、今までも携わってきましたが、銀行関係や経営といった事は初めてでして…。支払いや資金繰りに関して、銀行さんから電話が入りとか、慌てたのを覚えています。

● 特に力を入れている商品と今後の抱負について

昨今、県内はもとより、津市内でもLGBTQ対応の学校制服のモデルチェンジが早いスピードで進んでおります。学校や、購入する保護者の方々に喜んでいただける様な物づくりを心掛けています。

また、学校制服の製造元である、アパレル主導によるモデルチェンジで、価格が高騰しない様より良い商品を適正価格で販売する様、こちらも心掛けております。

これまでの歩みと経歴

明治34年 注文紳士服 荒川商店として開業。
大正 9年 荒川洋品店と改める。
昭和 5年 作業服、学生服の生産、販売開始。
昭和14年 三重県学生服工業協同組合設立、制服の普及につとめる。
昭和35年 制服制度の普及に伴い各種学校の制服発表
昭和41年 経営規模の拡大に伴い、荒川制服株式会社と改める。
昭和42年 現社屋完成
昭和43年 学校、官庁、会社制服の各分野を独立し、確固たる地位を確立する。
昭和53年 一般体育衣料部門の開拓着手。
昭和61年 教育文化会館にて独自に学校制服展示会を催し、『S.I.』（スクールアイデンティティ）を提案。新しい学校制服を創作する場を提供する。
平成19年 神戸高校・伊勢工業高校の2校新規採用していただく。

平成20年 四日市農芸高校の実習服を新規採用していただく。
平成22年 明野高校の通学カバンを新規採用していただく。
平成23年 西郊中学校・美里中学校の体操服、白山高校のニットを提案し、新規採用していただく。
平成25年 明野高校指定ポロシャツを新規採用していただく。
平成26年 津商業高校の新体操服を落札し、取扱いを始める。



令和3年よりモデルチェンジの朝陽中学校新制服

平成27年 高宮・長野・辰水各小学校の、体操服を新規採用していただく。
平成28年 美里小中一貫教育学校（みさとの丘学園）の制服MC（モデルチェンジ）を手掛け、採用していただく。
鈴鹿市白子に鈴鹿店をオープン。（鈴鹿市白子4丁目15-20 ヒオキビル2F）
平成29年 石薬師高校・天栄中学校の制服を取扱い始める。
平成30年 久居農林高校の体操服を提案し、新規取扱いを始める。
平成31年 白子高校の新体操服を落札し、取扱いを始める。
天栄中学校の体操服を新規取扱い始める。
南が丘中学校の体操服のMCを提案し、採用していただく。
令和2年 稲生高校の制服を取扱い始める。
令和3年 朝陽中学校の制服のMCを手掛け、採用していただく。